

全国各地にある青年技術士の組織

今回は、技術士全国大会（札幌）に第5分科会で、全国各地の青年技術士の組織が一同に集まったことから共有化できた各地の取組情報を提供します（当日の資料に掲載した内容の転記ですが……）。

1. 東北支部 — 青年技術士懇談会

社団法人日本技術士会東北支部の下部組織である専門部会のひとつであり、(社)日本技術士会会員で原則として満45歳未満の者で構成されています。

東北支部青技懇は、専門分野に係わる研鑽と他部門分野との相互コミュニケーションを強化して、会員各自の専門技術力の向上と見識拡大に貢献することを目的に、平成8年11月20日に準備委員会を立ち上げ、平成9年4月23日の設立総会を持って設立され、平成16年で7年目を迎えております。

ここ数年は研修会（総会時ならびに夏期の2回程度）と見学会（秋期1回程度）を開催しております。

- ① 会員相互の交流、親睦並びに研鑽等による資質向上
- ② 本会及び支部等組織活動に関する検討、提案及び情報交換とその提供
- ③ 支部における技術士制度の広報支援
- ④ 支部内の事業または行事に対する積極的な活動及び協力または共催
- ⑤ 未来に向けた周辺技術領域等に関する知性・感性の練磨等

2. 北陸支部 — 青年技術士委員会

(社)日本技術士会北陸支部に設置された組織です。新潟・富山・石川・福井4県のうち、主として新潟地区を中心に活動しています。本部規程では「45歳未満の技術士を持って構成すること」となっていますが、北陸では設立当初この年齢規程では絶対的な会員数が少ないことから、自称「青年」をも含めて

活動を行ってきました。

「地域の科学技術に関する実践的な知識集団の一員として、日々進展する科学技術を、青年技術士という立場から各分野での業務等を通じて社会に具現化することで、持続的な地域の発展と人々の幸福に貢献する」ことを大きな目標を達成するためには資質向上が不可欠です。そのため、青年技術士の活動の実行部隊となる運営組織の強化を図りつつ、「近未来を担う技術者に求められる視点とは何か」をテーマに、年2回(春と秋)、勉強会やパネルディスカッション、講演会、現地学習会等を中心に活動を継続しています。

発足以来の具体的な取り組みとしては、昨今様々な分野において関わりが深く、重要な視点の一つである「環境問題」を取りあげ、この「環境問題」にどう取り組んでいくべきかについて、勉強会等を通じて掘り下げてきました。また2003年度からは環境問題を包含する「くらし」をテーマに地域に密着した企画を行ってきました。

3. 本部 — 青年技術士懇談会

社団法人日本技術士会の調査委員会として1959年に設立され、技術部門を問わず全国の45歳未満の若手技術者全員に向けたサービス活動の提供を目的にしております。

青年技術士懇談会は各支部にあります。相互に交流しながら各地区が独自かつ活発に活動しております。

(平成15年度は)会のスローガンである、「開かれた～Open、会員のための～Useful、サービス活動～Service」のもと、委員12名、技術士補の委員補佐16名で主に次の活動をしました。

- ① 若手技術者の国際交流活動

- ② 支部交流活動
- ③ 技術士会と青年技術士会活動の広報
- ④ 月例会の開催
- ⑤ 第2回特別公開シンポジウム
- ⑥ 修習技術者支援活動
- ⑦ 技術士試験業務への協力
- ⑧ 会誌の作成
- ⑨ 若手技術者が活動する組織の検討

4. 中部 — 中部青年技術士会

中部青年技術士会は、愛知、静岡、岐阜、三重に在住する満45歳未満の技術士および技術士補の方々と構成する青年技術士のための組織です。

当会は、各種活動の場を通じて、会員相互の親睦と研修による各人の資質向上を目指しながら、工学技術の進歩と地域産業の発展に貢献し、青年技術士としての立場から他の青年事業者との社会的交流や対外活動の幅を広げ、技術士制度のPRと技術士事業の発展を図るために作られた会です。

(社)日本技術士会中部支部の下部組織ですが、日本技術士会会員以外も含めた当該地域在住の全ての青年技術士を対象としたオープンな会であり、会員も比較的若い方々(19歳～45歳)で構成されていますので、活発で、かつ、明るい雰囲気です。

また、技術部門が多岐に渡るため、異業種交流の場としても位置付けられています。現在の会員数は、約130名という大きな会に発展してきました。

5. 近畿 — 近畿青年技術士懇談会

近畿青年技術士懇談会(以下「近畿青技懇」)は、社団法人日本技術士会近畿支部とは独立した任意団体として平成3年に活動を開始しました。正式には、任意団体であり、日本技術士会近畿支部の下部組織ではありませんが、近畿支部とは連携を取りながら活動を進めています。会の運営は45歳以下の会員によって行っていますが、会員資格には基本的に制限はありません。会員数は、平成16年3月現在で110名です。その構成は、技術士83名、技術士補および1次試験合格者が27名であり、約3:1の比率です。また、45歳以上が52名、未満が58名とほぼ同数になっています。

今年で13年目を迎えますが、今後も技術研鑽のための講演会を含め、技術者同士の交流や、その他社会的意義のある活動などを中心に、諸先輩のご指導のもと、活動を続けていきます。

6. 中四国 — 青年技術士懇談会

日本技術士会中四国支部の会員のうち、一応45歳未満を対象としたグループです。これまで、組織として活動を行ってはいませんが、平成16年度に、北海道の全国大会における分科会参加を機に、正式に組織化することとなりました。

組織の発足とはいっても、大それた事は出来ないで、まずは会員同士交流を深め、支部及び本部行事に積極的に参加し、情報交換などから始めたいと持っております。

第1期目ということもあって、身近なところから始めたいと考え、以下の2点について活動したいと思っております。

- ① 修習技術者への支援
- ② 支部行事への積極的参加

7. 九州 — 九州支部第7(青年技術士)部会

九州支部第7(青年技術士)部会は、社団法人日本技術士会九州支部又は九州支部に設置された任意組織である九州技術士センターに属する満45歳未満の技術士、技術士補及び試験合格者から構成されています。会員は200名強です。

平成16年6月の九州支部総会で承認され発足し、現在実質的な活動に向けて準備中という段階です。

- ① 定例研修会の開催
- ② 講演会・見学会の開催
- ③ 技術士試験協力、修習技術者指導・支援
- ④ その他青年技術士としてふさわしい活動

以上のように、北海道を含むすべての地方に組織が立ち上げられ、様々な活動を展開しています。

当会としては、このようなネットワークを大事にしながら、今後も全国的な情報交換・人材交流を継続していきたいと考えております。

(文責：青年技術士協議会幹事長 今野 亨)